白保魚湧く海保全協議会　令和2年度（2020年度）　活動報告書

2021.4.14 作成

日付	活動	概要	備考
4/1	第23回 海岸清掃 白保海岸	コロナ感染予防のため、それぞれ個別で海岸清掃を行う新しい取り組み。漂着ゴミの分別に心配があったが、パーフェクトだった。	主催：当会
5/1	第24回 海岸清掃 白保海岸	同上。残念なことに、漂着ゴミの集積場にバーベキューのゴミが2袋置かれ、課題が残った。	主催：当会
5/11	総会		主催：当会
5/14	赤土堆積量調査（春季） 白保海域30箇所。SPSS法による海底の赤土の堆積量を測定	実施：8名 最大値は114.4kg/m3。北側は海藻なども無く、例年の春と比べても透明度が高かった。南側は冬のデータと比べると数値が悪化している。	実施：当会 連携：NPO夏花
5/22	白保中2年 環境教育支援	生徒：18名　実施：2名 座学　サンゴ礁学習　クラス授業	実施：当会 連携：NPO夏花
6/1	第25回 海岸清掃 白保海岸	参加：15名 燃えないゴミ 16袋、燃えるゴミ 3袋、ペットボトル 17袋（約850本）、漁具 4袋 発泡スチロール 7袋、缶 1袋、ビン 1袋、危険物 1袋、われもの 1袋、電球 1袋。ブイ大 52個、発泡スチロール大 17個、プラケース大3個、タンク 1本、ウレタン大2個	主催：当会
6/5	白保中2年 環境教育支援	生徒：18名 コーラルウォッチ　サンゴの健康調査	実施：当会 連携：NPO夏花
6/15	白保中2年 環境教育支援	生徒：18名 白保海域でのシュノーケリング実習　生物観察	
6/19	白保小6年 環境教育支援	生徒：16名 座学　サンゴ礁学習　クラス授業	
7/1	第26回 海岸清掃 白保海岸	参加：16名 燃えないゴミ9袋、燃えるゴミ2袋、ペットボトル11袋、漁具 4袋、発泡スチロール 4袋、カン 1袋、ビン 1袋、危険物 1袋、われもの 1袋、発泡スチロール大 2個、プラスチック大 2個、ポリタンク 2個、ブイ大 1個	主催：当会
7/2	白保小6年 環境教育支援	生徒：16名 プールでのシュノーケリング技術指導	実施：当会 連携：NPO夏花
7/13	白保小6年 環境教育支援	生徒：16名 白保海域でのシュノーケリング実習　生物観察	実施：当会 連携：NPO夏花
7/22	赤土堆積量調査（夏季）	実施：7名 最大値は、518.6kg/m3。20年の調査の中で稀な悪い数値。50年に1度の豪雨が6/8にあった。川が氾濫し、畑が水浸しになった影響を海が受けているといえる。	実施：当会 連携：NPO夏花
8/1	第27回 海岸清掃 白保海岸	参加：20名 燃えないゴミ 14袋、燃えるゴミ 1袋、ペットボトル 14袋、漁具 4袋、発泡スチロール 6袋、ビン 1袋、カン 1袋、われもの 1袋、危険物 1袋、電球 1袋、ブイ大 5個、プラスチックケース大 12個、ロープ 20キロ	主催：当会
9/1	第28回 海岸清掃 白保海岸	参加：大人16名　子供2名 燃えないゴミ 15袋、燃えるゴミ 1袋、ペットボトル 14袋、発泡スチロール 4袋、漁具 4袋、ビン 3袋、缶 1袋、われもの、キケン物 1袋、蛍光灯 1袋、ブイ大 11個、発泡スチロール大 1個、プラスチックゴミ大 7個、ポリタンク 1個、プラスチック棒大 8本、ロープ塊 50キロ	主催：当会
9/18	インカチの修復	子どもたちが漁の体験学習を行う目的として、沖縄県知事の特別の認可を受けて復元・使用している。	主催：当会

10/1	第29回 海岸清掃 白保海岸	参加：大人26名　子ども6名 燃えないゴミ 16袋、燃えるゴミ 3袋、発泡スチロール 7袋、ペットボトル 16 袋（800本）、漁具 5袋、ビン 3袋、カン 2袋、われもの 1袋、電球 1袋、ロープかたまり 100キロ、ポリタンク 1個、ブイ大 12個、発泡スチロール大 8個、プラスチック大 2個、船の一部大 1	主催：当会
10/3	赤土堆積量調査（秋季）	実施：8名 最大値は62.5kg/m3。前回の悪い数値を出した北側は改善されていたが、目視的にはまだまだ濁りが気になる。	実施：当会 連携：NPO夏花
11/1	第30回 海岸清掃 白保海岸	参加：大人25名　子ども5名 燃えないごみ 12袋、燃えるごみ 2袋、ペットボトル 6袋（300本）、発泡スチロール 5袋、漁具 5袋、ビン 2袋、カン 1袋、われもの 1袋、キケン物 1袋、蛍光灯 1袋、ブイ大 18個、発泡スチロール大 7個、ロープ 5キロ、パラソル1本、プラスチック大 6個、冷蔵庫 1個	主催：当会
10/15	白保中2年 環境教育支援	生徒：19名　　実施：6名 インカチ漁体験、海岸清掃	実施：当会 連携：NPO夏花
12/26	第31回 海岸清掃 白保海岸	参加：大人32名　子供2名 燃えないごみ 15袋、燃えるごみ 1袋、ペットボトル 7袋、発泡スチロール 4袋、漁具 6袋、ビン 1袋、缶 1袋、キケン 1袋、電球、蛍光灯 1袋、ブイ大 5個、発泡スチロール大 2個、プラスチック製ゴミ大 14個、ウレタン大 2個、テントシート2枚	主催：当会
1/31	赤土堆積量調査（冬季）	実施：7名 最大値は、65.2kg/m3。最も南側の海岸よりで前回より2段階悪化していた。今後の注視が必要。	実施：当会 連携：NPO夏花
1/31 2/1	海中清掃	実施：6名 巨大な魚網が漂着ゴミとともにアオサンゴに絡まっているのを発見。潜ってからまりをほどき、浜まで運び、解体・撤去作業を行なった。	実施：当会
2/7	海岸清掃に協力 （大浜海岸）	大浜地区の住人より相談を受け協力。巨大な漁網の引き上げ、解体、運搬。1日では解体しきれず、引き続き作業予定。	実施：当会
2/1	第32回 海岸清掃 白保海岸	参加：大人18名、子供2名 燃えないごみ 16袋、燃えるごみ 1袋、ペットボトル 11袋、発泡スチロール 5袋、漁具 8袋、ビン 1袋、カン 1袋、われもの 1袋、電球 1袋、キケン物 1袋、ブイ13個、ロープ200キロ、テレビ2台、プラごみ大3個	主催：当会
2/20	喜界島サンゴ礁文化 フォーラム 参加	白保からリモート参加。サンゴ礁文化の紹介、パネルディスカッション。文化の継承や活動の継続についての意見交換等。YouTubeにて配信された。	主催：喜界町役場 環境省ほか 協力：WWFジャパン
3/1	第33回 海岸清掃 白保海岸	参加：大人33名　子供3名 燃えないごみ 20袋、燃えるごみ 2袋、ペットボトル15袋（750本）、発泡スチロール 19袋、漁具 9袋、ビン 4袋、カン 1袋、電球 1袋、われもの、キケンごみ 1袋、ブイ大 2個、発泡スチロール大 1個、プラスチック大 7個、ロープ 約100キロ	主催：当会
3/5	ゆらてぃく憲章 お宿会	実施：1名 宿泊事業者の集う勉強会にて、白保の海の利用自主ルールについて話した	ゆらてぃく憲章 推進委員会
3/18	故郷を離れる卒業生と シュノーケリング	高校3年生 3名　実施：1名　白保海域 どこへ行っても誇れる自分たちが育った海を感じて欲しいと実施	実施：当会 連携：NPO夏花

※株式会社ユーグレナ様より、漂着ゴミ収集に使うスタンドバック60個をご寄贈をいただきました。ゴミ拾い活動で使いたい方はいつでもご連絡ください。

白保魚湧く海保全協議会　令和2年度（2020年度）　活動報告書

海中清掃
サンゴに絡まった漂着ゴミの撤去

運搬、解体も苦労する巨大な魚網

毎月1日に白保海岸清掃を実施
回収までの間に漂着ゴミ集積場に心ないゴミが混ざり、家電不法投棄は問題

大浜海岸の清掃に協力
漂着し絡まった巨大な魚網を解体し運搬

7月の海底の赤土堆積調査
サンゴ礁環境は健全とは決して言えない

海底の赤土堆積調査（分析）
年4回 30カ所

5月 白保中、総合の時間内での環境学習（座学）

白保小、総合の時間内での環境学習（座学）

9月 インカチを修復
10月 白保中学生と漁体験を行う

魚の扱い方、さばき方も習得、刺身にし味わう

清掃活動がやいま11月号に掲載される

3月 自分が育った海を感じて欲しく、白保を離れる高校卒業生とシュノーケリング

サンゴ礁文化の保全・継承をめざして
白保魚湧く海保全協議会は、白保の海とその周辺の自然環境・生活環境の保全・再生とサンゴ礁資源の持続的な利用による地域振興の両立を図ることを目的とし、2005年に設立。 2015年より沖縄県知事認定　白保サンゴ礁地区保全利用協定を結ぶ。

本会はあくまでも白保サンゴ礁環境の維持・向上とその利用による白保地域の活性化を目的としたものであり、政治的活動を目的とするものではない。